

納得感のあるジョブローテーション施策に創りあげよう! ⑤

5月7日付 施策を担う組合員の想いと今後の決意 パート3

私の希望は指導員として若手の育成をしていきたいこと、第二希望として車掌として盛岡支社の全線区を乗務することができるプロになることでした。

秋のジョブローテーションの面談ではこの希望を話してきましたし、助役からも「全線区乗務できることは強みだ」と言うことも話されていただけに、希望が叶わなかった事は非常に残念であり悔しい気持ちでいっぱいです。区長から転勤の打診をされ、「何故希望が叶わないのか?」「何のための面談だったのか?」「コロナの時期でも転勤させるのか?」「自分の家庭の事も区長に話してきたのに加味されないのか?」など納得いくまで話をしてきました。次のジョブで出る人達が不安を感じないよう、疑問点を聞いてきました。結果として「希望通りにはいかない」「通勤できるから」という言葉だけで、納得感は得られないまま転勤となりました。悔しい気持ちはありますが今は気持ちを切り替え、組織のために何が出来るかを考えながら、新しい職場で日々仕事を早く覚え仲間との信頼感関係を創るために頑張っています。今後も仲間の協力を得ながら新しい職場で組織を盛り上げていきます。よろしくお願いします。

私は養育等を考慮し近い将来のキャリアプランを地区内での駅勤務としていましたが、ジョブ施策実施に伴う面談で他地区への異動が打診されました。他地区への異動理由として、「基本的には同じ地区内での異動は無い」旨を伝えられましたが、本部本社間、地本支社間における交渉の中で、そのような確認事項は無かったので、他地区への異動に対して前向きに受け止めることは出来ませんでした。

約20年ぶりとなる営業職場での勤務に対して大きな不安を抱えながらの異動でしたが、職場の全ての皆さんが私たちを温かく迎えてくれたことや、ほぼ未経験に近い駅業務についても丁寧に教えて頂き、新しい職場での仕事に前向きに取り組むことが出来ています。

今後は職場の皆さんから信頼される人間となれるように日々の業務に真面目に取り組むと共に、ジョブ施策が、社員が描くキャリアプランを最大限考慮した施策として実現出来るよう、職場での議論を継続していきます。

ジョブ施策という人事運用の新しい形が会社から示されて以降、私の中でこの施策に向き合い、日々の業務や安全レベルを低下させない努力をしてきました。また、面談担当の管理者へは自分の進路希望や家庭環境の想いを伝え、納得感をもってこの人事運用を担っていく決意でした。しかし今回の異動の打診では、希望した転勤地ではない事や、居住地から離れた職場に異動打診だったし、その理由も現場長からは真摯に説明されず、また話した内容も二転三転するなど「納得感」からかけ離れたものでした。人事運用に対し全員が全員希望通りの転勤になるとは思っていません。しかし、現場長の心のこもった説明や、困っている事に対して聞く姿勢、配慮があって初めて労使議論で確認した「納得感」になるのではないのでしょうか?そういう状況で異動しましたが、新しい職場では、明るい雰囲気と親切な対応で前向きに頑張っています。本当にありがたく思っています。今回の問題点が是正され、今後にしっかり生かされる事を望みます。